

大使館情報

2019年9月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢等（8月発表の経済指標）
- (2) 経済政策等
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢（8月の出来事）

【内政】

- (1) 年金制度改革に関する憲法修正案の下院承認
- (2) 金融活動監視委員会（COAF）の移管
- (3) 「ブラジル前進」プロジェクトの発表
- (4) アマゾン森林火災関連

【外交】

- (1) グランディ国連難民高等弁務官の訪伯
- (2) メルコスール EFTA・FTA 交渉の完了
- (3) ピニェラ・チリ大統領の訪伯
- (4) アラウージョ外務大臣及びエドゥアルド・ボルソナーロ下院議員の訪米

3. トピックス

- (1) 日本の教育に関するセミナーへの出席
- (2) 「第17回ゴイアス盆踊り」の開催
- (3) ビエナル・リオ国際図書展への参加（在リオデジャネイロ総領事館）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省 海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢等（8月発表の経済指標）

(ア) 中銀が週次で発表しているエコノミスト等への調査に関して、8月26日公表資料によると、GDP成長率予測については、2019年は0.80%で先週0.83%から0.03%減少、2020年は2.10%で先週2.20%から0.10%減少した。インフレ率については、2019年は3.65%で先週3.71%から0.06%減少、2020年は3.85%で先週3.90%から0.05%減少。

(イ) 6月の鉱工業生産指数は、前月比-0.6%、前年同月比▲5.9%を記録（2月連続でマイナス）。

(ウ) 6月の小売売上高は、前月比+0.1%、前年同月比▲0.3%を記録。

(エ) 全国の失業率（5～7月の移動平均）は11.8%となり、3月連続で前回の公表値（12.0%：4～6月の移動平均）より改善した。

(オ) 6月の貿易収支は、輸出額は212.57億ドル（前年同月比+10.0%、前月比+7.74%）、輸入額は149.72億ドル（前年同月比+12.9%、前月比+9.88%）で、差引き62.85億ドル（前年同月比+3.64%、前月比+2.98%）となり、51か月連続で貿易黒字を記録した。

(カ) 7月の拡大消費者物価指数（IPCA）は単月で+0.19%となり、前月の+0.01%から増加した。12ヶ月の累計では3.22%となり、政府のインフレ目標（4.25%±1.5%）内の水準で推移している。

(2) 経済政策等

(ア) 8月5日、経済省は、年内の国内経済活性化の取組の一環として一般消費者の消費拡大するために、今年9月からの現役サラリーマンの勤続期間保障基金（FGTS）預金や凍結預金引出を決定した。連邦貯蓄金庫（CAIXA）は、FGTS預金と凍結預金の引出スケジュールについて、9月13日から500リアルまでの預金引出を、社会統合基金（PIS）の引出は8月から開始と発表。

(イ) 8月6日、伯下院本会議で年金改革法案の2回目の採決に向けた審議が行われ、賛成370票、反対124票の賛成多数で承認された。今後、上院で審議される。

(ウ) 8月21日、ゲデス経済大臣は、今後数ヶ月又は数年以内に17社を民営化すると発表。民営化される公社には、ブラジル電信（Telebras）、宝くじ販売店ロッテリカの窓口販売部門（Lotex）、郵便局（Correios）、造幣公社（Casa de Moeda）、エレクトロプラス電力公社、サントス港管理会社（Codesp）が挙げられ、売却の詳細は今後BNDESが経済省と調整して詰める。

(エ) 8月21日、伯政府各省（13省庁・機関）の予算が切迫し、8～9月に政府機関が機能停止に陥る見込みであることを受け、ゲデス経済大臣及び経済チームは、マイア下院議長に200億リアルを確保して省庁予算を支援する案を提示。

(オ) 8月23日、経済省国庫局の発表によると、2019年7月のインフレ率を差し引いた歳入総額は、前年同月比2.95%増加の1,377億3,500万リアル、7月としては2001年以降で最高の歳入総額を記録した。

(カ) 8月26日、中銀がエコノミスト等への調査（8月23日時点）を発表し、2019年のGDP成長率予測については0.80%、インフレ率については3.65%、いずれも先週より減少。

(キ) 8月29日、地理統計院は、2019年第2四半期（4～6月期）の実質経済成長率が前期比

+0.4%, 前年同期比+1.0%となったと発表。

(3) 中銀の金融政策等

次回金融政策委員会は9月17日及び18日開催予定。

(4) 為替市場

(ア) 8月の為替レートは、1ドル=3.81~4.13レアル台で推移。

(イ) 月の前半は、伯金融政策委員会が利下げ決定した後、米国が中国を為替操作国と指定し中国がこれに対抗措置を示すなど、米中貿易摩擦の過熱からリスクオフの展開となり、レアルは3.8台から3.9台へと下落した。

(ウ) 月の後半は、アルゼンチンの大統領予備選結果を要因に新興国リスクが高まり、米国が対中追加関税措置を発表して世界経済の景気減速懸念が高まったことから、レアルは3.94台から2018年9月以来最も低い4.15台まで下落した。27日、中銀が外貨準備を用いてドル売り介入し終値で4.145となった。

(5) 株式市場

(ア) 8月のブラジルの株式相場 (Ibovespa) は、米中貿易摩擦に伴う米国株価の下落、世界経済の景気減速懸念の高まり、アルゼンチン情勢を受けた新興国リスクの高まりから、100,000ポイントを下回った。

(イ) 月の前半は、102,000前後で推移したが、アルゼンチン大統領予備選の結果を受けて、99,000ポイントまで下落。

(ウ) 月の後半は、米中貿易摩擦に伴う世界経済の景気減速懸念の高まりから99,000~97,000ポイントで推移したが、中銀のドル売り介入及び2019年第2四半期のGDP成長率結果から、月末には101,135ポイントへ上昇した。

2. ブラジル政治情勢

【内政】

(1) 年金制度改革に関する憲法修正案の下院承認

8月6日深夜、下院本会議において、年金制度改革に関する憲法修正案の原案に係る2回目の投票が行われ、賛成370票で可決された(反対:124, 棄権:1, 欠席:18)。これをもって下院承認となり、本憲法修正案は上院に上程された。

(2) 金融活動監視委員会 (COAF) の移管

8月19日、経済省所管のCOAFが中央銀行に移管された。また、名称は、「金融インテリジェンス・ユニット (UIF)」に変更。

(3) 「ブラジル前進」プロジェクトの発表

8月22日、伯法務・治安省が暴力犯罪対策「Em Frente, Brasil（ブラジル前進）」プロジェクトに関する省令を発出した。同省令は、国内で最も殺人事件発生率の高い5都市に国家治安部隊の派遣を許可するもの。対象都市は、アナニンデウア市（パラ州）、パウリスタ市（ペルナンブーコ州）、カリアシカ市（エスピリトサント州）、ゴイアニア市（ゴイアス州）。

（４）アマゾン森林火災関連

（ア）8月23日、ボルソナーロ大統領は、法定アマゾン地域の州知事から要請があった場合に、森林火災に対応するため、8月24日から9月24日までの間、アマゾン地域の境界地域、先住民居住区、自然保護区やその他法定アマゾン地域において、軍隊の派遣を可能とする大統領令に署名した。

（イ）8月29日、ボルソナーロ大統領は、同日から60日間（乾期の間）、森林火災への対応として、森林や植生への人為的な着火行為を禁止する大統領令を公布した。

【外交】

（１）グランディ国連難民高等弁務官の訪伯

8月15日、ロレンゾーニ文官長は、訪伯中のフィリッポ・グランディ国連難民高等弁務官と会談した（アラウージョ外相、モーロ法務・治安相、及びテッハ市民相同席）。伯閣僚は、ベネズエラ移民及び難民の尊厳ある連帯した受入れに対するボルソナーロ大統領のコミットメントを改めて申し述べ、伯国軍及びその他の省庁によって実施中の優れた人道的活動に対するグランディ国連難民高等弁務官の賛辞に対して謝意を表明した。

（２）メルコスールEFTA・FTA交渉の完了

8月23日、ブエノスアイレスにおいて、メルコスールEFTA・FTA交渉会合が行われ、同交渉が完了した。本協定は、関税撤廃、並びにサービス、投資、政府調達、貿易円滑化、税関協力、TBT（貿易の技術的障害）、SPS（衛生植物検疫措置）、貿易救済、競争、持続可能な開発、原産地規則、及び知的財産等の分野におけるルールに係る約束を定める。

（３）ピニェラ・チリ大統領の訪伯

8月28日、ボルソナーロ大統領は、訪伯中のピニェラ・チリ大統領と首脳会談を行い、アマゾン森林火災問題やその他の問題について協議した。両大統領は、会談後に共同声明を発出し、「南米の前進と発展のためのフォーラム（PROSUR）」の実施に向けた協力を含む、あらゆる分野において伯チリ間の協力を深めていく約束を再確認した。

（４）アラウージョ外務大臣及びエドゥアルド・ボルソナーロ下院議員の訪米

8月30日、訪米中のアラウージョ外相及びエドゥアルド・ボルソナーロ下院議員は、ホワイトハウスでトランプ米大統領と会談し、アマゾン森林火災について協議した。

3. トピックス

(1) 日本の教育に関するセミナーへの出席

8月21日、ブラジル元留学生同窓会（ABRAEX）主催で日本の教育に関するセミナーが開催され、約90名が参加した。本セミナーでは、タカシ・ヤマニシ ABRAEX 会長（元 JICA 研修生）による日本教育の概略に関する講演が行われたほか、当館鈴木宏幸書記官が日本の全日制教育をテーマとする講演を行った。聴衆から多数の質疑があったほか、活発な意見交換を通して連邦直轄区教育局関係者等の間で人脈構築が行われ、当館の帰国留学生とのネットワーキングの強化に資するものとなった。在ブラジル大使館は帰国留学生とのネットワーキング強化のため、引き続き ABRAEX の活動を積極的にサポートしていく。



オープニングセッション



タカシ・ヤマニシ ABRAEX 会長
（元 JICA 研修員）による講演



鈴木宏幸書記官による講演



参加者との集合写真

(2) 「第17回ゴイアス盆踊り」の開催

8月23日から24日に、ゴイアニア市にてゴイアス日伯文化協会（ANBG）が開催した「第17回ゴイアス盆踊り」を当館も共催した。同イベントにはゴイアス州知事およびゴイアニア市長をはじめとする関係者や地域ボランティアなどを含め、2日間で7000人以上が参加するなど、大盛況となった。23日の開会式ではマルコ・トゥーリオ・トグチ ANBG 会長が挨拶を行ったほか、在ブラジル日本国大使館の山中臨時代理大使が出席し、本イベントが日ブラジルの文化交流の深化につながることを祈念すると述べた。また、ゴイアニア・キョウシン太鼓をはじめとする太鼓団体による演奏や盆踊りが行われた。

在ブラジル日本国大使館は、引き続き日本文化の普及を通じて二国間交流を深めていく。

開会式における山中臨時代理大使の挨拶は[こちら](#)。



挨拶するマルコ・トゥーリオ・トグチ ANBG 会長



挨拶する山中臨時代理大使



ゴイアニア・キョウシン太鼓による演奏



会場の様子

(3) ビエナル・リオ国際図書展への参加 (在リオデジャネイロ総領事館)

8月30日(金)から9月8日(日)、リオデジャネイロ市リオセントロにおいてラテンアメリカ最大規模の図書展であるビエナル・リオ国際図書展(Bienal Internacional do livro Rio)が開催されている。今年は日本が特別招待国となっており、「告白」等の著書で知られる作家湊かなえ氏、手塚治虫氏の長男であり映画監督の手塚眞氏及び「陰陽師」で知られる漫画家岡野玲子氏の特別講演に加え、日本特別ブースでは国際交流基金による少女漫画展、日本人作家の著書の展示の他、折り紙、日本語、俳句等のワークショップが開催されている。

8月30日(金)に開催された開会式にはペレイラ伯出版社協会会長、洲崎国際交流基金サンパウロ日本文化センター所長等が出席し、星野総領事は日本が特別招待国として選ばれたことを光榮に思う旨、挨拶を行った。



湊かなえ氏



パネルディスカッション



手塚眞氏



岡野玲子氏



折り紙講習



領事館ブース

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

ブラジリア草月第32回生け花展（ブラジリア）

日時：9月20日（金）～22日（日）

場所：レナト・ルッソ文化センター

内容：華道団体「ブラジリア草月」による第32回生け花展を実施。期間中、生け花デモンstrーションのほか、茶道デモンstrーションを実施する。

URL：当館 Facebook（<https://www.facebook.com/EmbaixadaDoJapao/>）と Instagram（<https://www.instagram.com/embaixadajapao/>）で公表予定。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策など、海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点が掲載されている。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

8月2日付で内容を改訂するとともに、一部地域（ロライマ州北部・セアラ州大フォルタレーザ圏）を新規に追加したので御確認いただきたい。以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっているので、詳細をホームページで確認いただきたい。

- ・ブラジリア連邦区（継続）
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市（継続）
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏（継続）
- ・アマゾナス州大マナウス圏（継続）
- ・ロライマ州北部（新規）
- ・パラ州大ベレン圏（継続）
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏（継続）
- ・バイア州大サルバドール圏（継続）
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏（新規）
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏（継続）
- ・パラナ州大クリチバ圏（継続）
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市（継続）

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionspothazardinfo_259.html

(イ) 安全対策基礎データ

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先が掲載されている。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

(ウ) テロ・誘拐情勢

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html